

経営比較分析表（平成28年度決算）

福島県 泉崎村

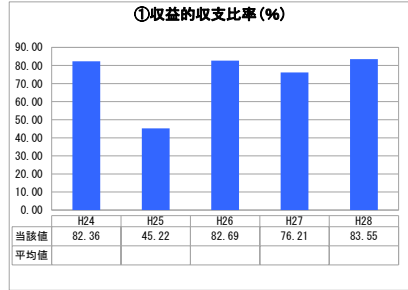
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	95.44	100.00	3,060

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,597	35.43	186.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,301	17.30	364.22

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



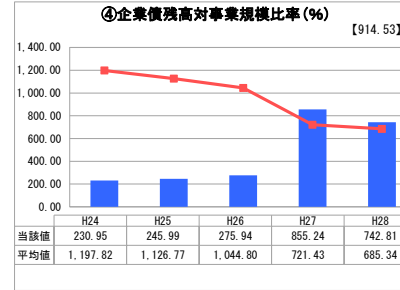
「単年度の収支」



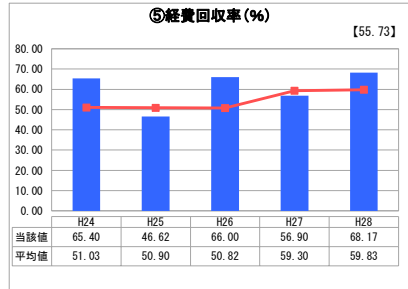
「累積欠損」



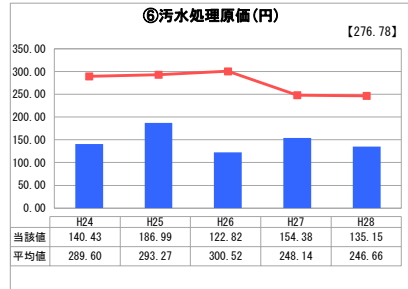
「支払能力」



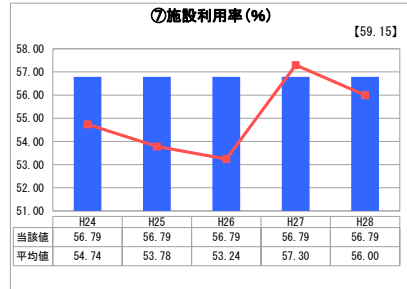
「債務残高」



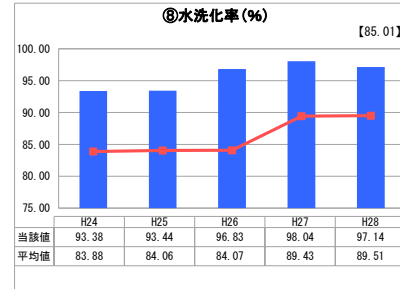
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

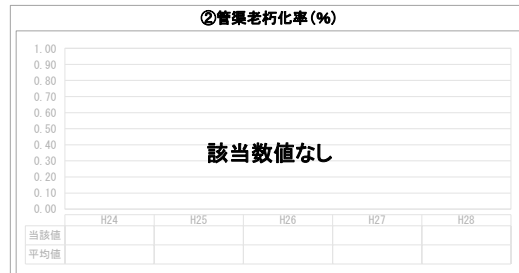


「使用料対象の捕捉」

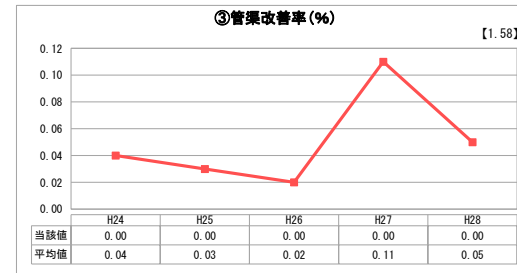
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

地方償還金が減っているが、さらなる費用削減をし、今後も健全経営を続けていく。また、未回収の使用料の回収に努め、適正な使用料の収入を確保したい。水洗化率は、97.14%と高い水準ではあるが、さらなる水洗化率の向上に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

全体総括

健全経営ではあるものの、今後も経費の削減や、使用料の収入の増加に努め、健全経営を図っていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。